



衆院北海道2区補選・総選挙 市民と野党の共闘勝利を 「市民の風」がシンポ

衆院北海道2区補選と総選挙で市民と野党の共闘を勝利させようと、「戦争させない市民の風・北海道」は30日、オンライン・シンポジウムを札幌市で開きました。

川原茂雄共同代表は「道2区補選のたたかいを共闘で勝利し、全道、全国の共闘に弾みを付け、政治の流れを変える契機にしよう」とあいさつしました。

日本共産党の紙智子参院議員がオンラインで参加。国会で野党が共同で第3次補正予算の組み替え動議をだし、新型コロナ特措法・感染症法改定案の罰則規定の撤回要求で刑事罰を削除させるなど野党が一致結束して動かしてきたことは大きいと報告。「次々に出る『政治とカネ』の問題を終わらせるために、統一候補で力を結集して勝利しましょう」と連帯あいさつしました。

日本共産党のはたやま和也前衆院議員、青山慶二道委員長、立憲民主党の勝部賢志参院議員、梶谷大志道議、社民党から熊谷吉正道連代表、浅野隆雄幹事長が出席。コロナ対応や2区補選などで縦横に語りました。

はたやま氏は「吉川元農水相辞職で幕引きせず、徹底的に真相究明を。補選は魅力ある政策、実行力のある政治を示し、党として力を尽くす」と表明し、青山氏は「野党共闘の取り組みは市民の声が一番の力。一つひとつ合意を積み上げ、共闘を前進させていきたい」と強調しました。3党と市民の共闘合意、共通政策の一致に進むことを確認しました。